

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年10月20日（木）現在

【 果 樹 】

<ナ シ>

気温低下する中で、売り場維持に向けた販売となっている。

「新高」特秀 18 玉 3,000 円～ 秀 2,800 円～

特秀 24 玉 3,500 円～ 秀 3,200 円～

<リンゴ>

店頭価格は「つがる」から中生種に変わり売価も上昇したことから、競合するミカンや柿などと比べ割高感もあり、荷動き鈍く弱含みの気配あり。

「シナノスイート」特秀 28 玉 3,500 円～ 秀 3,000 円～ 赤秀 2,500 円～

特秀 32 玉 3,200 円～ 秀 2,800 円～ 赤秀 2,300 円～

【 野 菜 】

<きゅうり>

気温の低下で全体的な入荷量は減少傾向にあるが、寒さの影響で消費も鈍く動きが重い状況となっている。東北産地においては、降霜予報もあるため今後の出方を懸念しながらの販売となる。相場は保合展開の見通し。

@ A2,100 円 ～ 1,900 円

<ミニトマト>

西南暖地も東北同様に夜温が低く想定よりも増量ペースは鈍いため、全体量は微増程度にとどまっている状況となっている。相場は保合展開の見通し。

@ AM 170 円 ～ 150 円

<さやいんげん>

福島県産は入荷量が少なくなり、九州産も出始めの状態で緩慢な販売環境となっている。相場は保合展開の見通し。

@ A 4,000 円 ～ 3,500 円